

解答

□

問一 自分が信じていることと言っていることが一致しており、たとえ自分を傷つけることがあっても、自分の信じていることをそのまま無防備に口にする率直さを持ち、絶対に嘘をつかない生き方。

問二 内面を隠したり、他人を騙す意図をもったりすることができ、嘘をついてその場をしのご技術・能力を身につけていながら、嘘をつかないという自発的意志を働かせることができる状態。

問三 嘘をつくことで成り行きに振り回され、自由を失い、自分が望むように振る舞えなくなり、自分の気持ちを押し殺し、苦しみ、偽りのない人間関係を取り戻す希望も失ってしまうこと。

問四 社会がどういうところかある程度認識して、嘘をついて自分を失う可能性と自分に忠実に自分らしくある可能性の間で葛藤できる心があり、嘘をつくの止めようと思いとどまる意志、嘘をついてしまった時にも本当のことを話そうとする意志をもち、他人も自分自身も大切に、自分らしくあることを切望すること。

問五 エ

問六 イ

問七 A ウ B エ C イ D ア

問八 ア 誠実 イ 立派 ウ 賞賛（称賛） エ 利害 オ 切望

問九 エ

□2

問一 五人の話した声が、誰かの記憶には残っているかもしれないが、確かな記録としては残らず、秋の陽気の中に消えていったということ。

問二 ロケ地探して訪れた家の老女の大切な物への思いがきっかけで陶芸職人になった娘さんの話を聞き、誰かが作ってきたり、だいじにしたりしてきたものを、別の誰かに手渡すようなことに心ひかれ、そういうことをなにかの形で手伝うようなことがしたい、ということ。

問三 イ

問四 年を重ね、ここ数年の間に書きたいことややりたいことをあとどれぐらいできるか切実に思うようになり、時間的な猶予を考えると、〈生き残っている者は、早く記録を〉という言葉に背中をおされ、実行に移すことを考えた。

問五 I 蛙 II 山 III 鯛 IV 水心

問六 エ

問七 A コ B シ C エ D ス

問八 ア